

質疑回答書（第2回）

令和7年2月17日 羽曳野市作成

質疑No.	資料名及び ページ番号	質疑事項	質疑回答
1	質疑回答書（第1回） 質疑No24	新庁舎と別館をブリッジでつなぐ件について、消防法上別棟扱いというご回答でしたが、建築基準法上も別棟扱い（既存適及無し）できるという前提でよろしいでしょうか。また、隣棟間の延焼線が発生する場合、その範囲と改修内容をご提示ください。	建築基準法上別棟扱いとした場合も基本的には既存適及有りとなると考えております。（項目は追加指示資料03及び04に記載。）また、別棟扱いとし隣棟間の延焼線が発生する場合の検討平面図を提示します。（【質疑01】平面図（別棟扱い時延焼ライン検討）） 新本館での変更対応及び別館改修については共通して下記2点が想定されます。 1. 延焼線がかかる部分の開口部を防火設備に変更。 2. ガラリ接続の換気口への防火ダンパーの設置。
2	質疑回答書（第1回） 質疑No33	免震構造採用に関する業務は本業務に含むというご回答ですが、要求水準及び基本設計図の内容と大きく異なり、業務内容及び工事費が大きく異なることが想定されます。免震構造が要求となるのであれば免震構造の要求水準及び基本設計図のご提示をお願いします。または、免震構造採用に関する業務の検討は、事業者の判断によるという理解で良いでしょうか。	お見込みのとおりです。
3	質疑回答書（第1回） 質疑No38	イ別添資料2の「大阪府との事前協議及び届出手続きについて」にある通り土壌汚染概況調査から土地改変日迄を事前打ち合わせを行った届出期間である4か月程度と想定してよろしいでしょうか。また、土壌汚染が判明した場合は工期延長も含めて協議可能という理解で良いでしょうか。	土壌汚染概況調査以降工事着手まで、汚染が出なければ通常4か月あれば十分と考えられますが、実施可能なスケジュールをご提案ください。 なお、土壌汚染が判明した場合の工期延長は協議によるものとします。
4	質疑回答書（第1回） 質疑No41	埋蔵文化財包蔵地外と想定しますが、試掘調査依頼手続きが必要という理解でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
5	質疑回答書（第1回） 質疑No46	脱炭素化推進事業債を活用するためのZEBを取得の記載がありますが、基本設計図書（案）ZEB Readyです。ZEB Readyが正しいと考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
6	質疑回答書（第1回） 質疑No55	2025年11月30日に必要な図書一式とは、Aにある実施設計抜粋版の図面のみ必要で工事費内訳書は不要ということと理解しました。	質疑回答書（第1回）質疑No54に記載のとおり「建設費と備品費等が明示された工事費内訳書等」も必要なことを基本とします。 ただし大阪府等との協議を今後予定していますので、進め方含めてDB事業者との協議によるものとします。
7	質疑回答書（第1回） 質疑No72	質疑回答書では、工事施工期間中は新本館新築工事期間以外も対象とします。との事ですが、昨今の技術者不足や弊社の状況を踏まえると、5年間常駐することは、難しいと考えます。他現場との兼務等、協議にのっていただけますでしょうか。	原則要求水準書等に記載のとおりとしますが、契約約款及び建設業法等に基づき協議の上決定します。
8	質疑回答書（第1回） 質疑No72	質疑回答書では、工事施工期間中は新本館新築工事期間以外も常駐とのことですが、フェーズ3の新築工事とその他のフェーズでは工事の内容が異なります。それぞれのフェーズで現場代理人・監理技術者・施工主任技術者（建築）の変更は可能としていただけますでしょうか。	原則要求水準書等に記載のとおりとしますが、契約約款及び建設業法等に基づき協議の上決定します。
9	実施要領 P2	工事施工費は、補助金による助成を勘案されていない金額と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
10	実施要領 P4（4）実施体制	電気設備、機械設備の設計・監理主任技術者は兼任可とする。と記載があり、P5⑤⑥では設備一級、一級建築士または建築設備士資格を有すること。と記載があります。その下部欄に※電気・機械いずれかは設備設計一級建築士資格を有すること。と記載があるので、兼任する場合は設備設計一級建築士資格を有する技術者しか配置出来ないということでしょうか。	お見込みのとおりです。
11	実施要領 P6	第2回質疑受付後以降に関しても質疑が発生する場合があるため、随時質疑をさせていただく機会を設けて頂きたい。	原則第3回以降の質疑回答は予定しませんが、本市が必要と判断したものについては追加指示を提示する場合があります。
12	要求水準書 P2	3(1)①に記載の国の地方債の活用の中に、脱炭素化推進事業債を最大限に活用するとありますが、こちらは、具体的に基本設計時にどのような活用をイメージされていますか。また本事業債はZEBが要件となりますが、ZEB Readyグレードでも該当すると考えてよろしいでしょうか。	本市の要求水準を満たした上で本事業債の対象経費を最大化することを目処としています。具体的には、空調設備その他の機械換気設備、照明設備、給湯設備、昇降機設備、太陽光発電設備、BEMSへの活用を想定しています。 「ZEB基準相当に適合する」ことが条件であるため、ZEB Readyグレードも該当します。詳細は総務省ウェブサイト「令和6年度地方債同意等基準運用要綱」等をご参照ください。
13	要求水準書 P5	フェーズ0から2までの工事は前捌き工事となるため、工事監理業務は、必要最小限の重点監理（建築・設備）を行うと考えてよろしいでしょうか。	p.24「4(3)監理条件」に記載した通り、合理的な実施体制を提案頂き、監督員の承諾を得ることとしています。
14	要求水準書 P22	(13) 実施設計完了時の提出物 (12) 各種申請書類にバリアフリー新法認定申請図書とありますが、P10(6)関係官公庁様への届出手続きには記載はなく、基本設計図書(案)は建築物移動等円滑化誘導基準に適合していません。認定では無く申請手続きと理解してよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
15	要求水準書 P38	別館改修工事の改修範囲は、基本設計図A019、A022-023図に示された内容を改修範囲とし、建築工事の改修に伴う設備故障改修を見込むという改修方針でよろしいでしょうか。	基本設計図A019、A022-023図のほか、基本設計図書P50「19. 別館改修計画」に記載の内容についても見込んでください。
16	要求水準書 P44	(1) 国際記念物遺跡会議 受注者は、本誌がICOMOS等へ提示する資料作成に協力とありますが、具体的な内容をご教示願います。	各関係機関との協議の支援、構成資産と建築物の位置関係等がわかる資料の提供、説明資料の作成支援等を想定しています。
17	要求水準書 P44	(3) 関連工事支援のうち 工、カ、キ、ク、ケにつきまして、 基本設計図(案)にも上記設備内容の記載があり、受注者施工範囲が明確でない箇所があると思われます。 受注者施工範囲を基本設計図(案)にて明確に御指示願います。	工事内容の詳細は今後別途発注に向けて調整につき、現段階でお伝えできる情報はありません。関連工事に基づく対応工事費を適宜見込んでください。

質疑回答書（第2回）

令和7年2月17日 羽曳野市作成

質疑No.	資料名及び ページ番号	質疑事項	質疑回答
18	基本設計図書（案） P12	解体・撤去建物内の残置物について、処分対象となる備品リストをご提示ください。	現在の備品等の調査結果を別途提示します。処分対象は以下に記載の割合を想定として見込んでください。 A・C・D棟：要求水準書P45「イ.不要な什器・備品の廃棄処分」に記載のとおり 本館・森のゆうびん局：全数量の9割を処分対象とする。
19	基本設計図書（案） P12	解体せず残す既存建物は全て確認済証及び検査済証があると考えてよろしいでしょうか。また、残置建物は別館を除き非改修でよろしいでしょうか。	全てではないですが、契約後に関係資料を提供します。また、残置建物についてはお見込みのとおりです。（機能維持改修は除く）
20	基本設計図書（案） P34-37	1～4階平面図 便所の界壁が赤線にて改修箇所と指示有りますが、改修内容が不明です。改修内容の提示をお願いします。	男女便所間での音漏れが生じているため界壁の防音対策を想定しています。仕様はGW充填を想定しています。
21	基本設計図書（案） P50	別館改修項目 08外壁タイル浮き・ひび割れ 09外壁・外部階段・屋上白華・さび等 10パラペット笠木ひび割れ多数、笠木シーリング劣化 上記について該当箇所の補修とありますが、該当範囲について資料提示をお願いします。	別途資料（外壁調査報告書）を提示します。
22	基本設計図書（案） P50	別館改修項目 04非常用照明の不点灯 管玉交換・機器取換とありますが、それぞれ台数など資料提示をお願いします。	E-B-102～E-B-105に記載していますのでご確認ください。
23	基本設計図書（案） P50	別館改修項目 06給排水管の腐食・・・、交換・補修とありますが、それぞれ範囲など資料提示をお願いします。	M-B-106～108に内容記載していますので、ご確認ください。
24	基本設計図書（案） P74	2.2高圧引込仕様に地中引込方式と記載有りますが、事前協議資料等あれば開示をお願いします。また地中引込方式は絶対条件でしょうか。	引き込み方式の記載に誤りがございました。架空引込方式となります。
25	基本設計図書（案） P74	高圧引込設備において、敷地内に電力会社支給の高圧キャビネットとありますが、高圧キャビネットの設置及び接続は電力会社工事となると思います。地中出迎工事になる場合は配管のみ本工事対応となると思いますが、高圧キャビネットの位置をご教授お願いいたします。	引き込み方式の記載に誤りがございました。架空引込方式となります。構内中にPASを設置する計画とします。
26	基本設計図書（案） P75	受変電設備キュービクルにおいて、計画書のスケルトンはコンデンサ及び変圧器を目的別にVCBを設け信頼性・メンテナンス性を考慮されていますが、基本設計図(案)にはVCBを設けておりません。基本設計図通りと致しますがよろしいですか。ご教授お願いいたします。	よろしいです。 基本設計図通りでお願いします。
27	基本設計図書（案） P75	1.非常用発電機設備概要において、非常用発電機には防振架台を設置し、地震の揺れによる機器の破損を抑制しますと記載していますが、03-01 基本計画図E-103 (6)b)防振装置の所には防振ゴムと記載しています。どちらが正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	基本計画図E-103の記載（防振ゴム）を正とします。
28	-	上記質問において、防振架台を設置する回答の場合、屋外キュービクルも防振架台と考えるのでしょうか。御指示下さい。	-
29	基本設計図書（案） P76	電話・情報引込について敷地南西側から地中にて引き込むとなっていますが、道路部分にCボックスからの配管も太さも54φ×3本と考えます。地域CATVは不要としますがよろしいですか。	電話・情報で2本予備で1本としていますのでCATV引き込み時は予備を使用する想定としています。
30	基本設計図書（案） P77	1.構内交換設備概要において、モジュラージャック～端子盤までの配管配線を敷設しますと記載していますが、MDF～端子盤～端子盤間の配線は別途工事と考えて宜しいですか。御指示下さい。	MDF～端子盤～端子盤間の配線は本工事とします。
31	基本設計図書（案） P79	外部雷設備について、既設建物は新基準になっていないようなので既設の避雷針状況をご教授お願い致します。（新JISに準拠する必要があるので既設避雷設備改修が必要と思われます。）	電子データにて提供済の既存図に含まれている内容です。ご確認ください。
32	基本設計図書（案） P84	別館は、一部の設備改修は行うが、全面的設備改修ではありません。従って、別館は、建築基準法及び消防法での別棟扱いができるという前提で、新本館のみを対象にZEB Readyを目標とした設計を行いZEB Readyの認証を取得するという理解でよろしいでしょうか。（既存と1棟申請では認証を取得できない可能性があるため）	新本館のみを対象にZEB Ready相当を目標とした設計を行うといった認識です。
33	基本設計図書（案） P84	ZEB Ready取得を目指すかとされていますが、脱炭素化推進事業債の要件はZEBと思われる。再生可能エネルギーの総量（太陽光発電）が少ない計画となっておりますので、基本設計時の検討書（計算書）をご提示ください。	脱炭素化推進事業債の要件については質疑No. 12に記載のとおりです。ZEB Readyのため、創エネについては目標数値を設定していません。
34	基本設計図書（案） P84	ZEB Ready取得を目指すかとされていますが、建設コストがおさまらない場合は、建設コストを優先し、ZEB Ready相当の性能に近づける努力を行うということでしょうか。	お見込みのとおりです。
35	基本設計図書（案） P85	自動制御設備概要ですが、脱炭素化推進事業債を使用される際はBEMS装置の設置が要件となりますが、基本設計記載の内容で、仕様等は合致している認識で宜しいでしょうか。パッケージ、全熱交換器は集中リモコンで可能なのでしょうか。	現状の中央監視装置にてBEMS機能（グラフ化による出力、計測間隔など）は持っております。EHPと全熱交換器は集中リモコンに取り込み、あくまで電力量を中央監視装置にて取り込む想定です。
36	基本設計図書（案） P91	概略スケジュールにある各申請の審査期間は、各担当課がこのスケジュールに対応できるという理解でよろしいでしょうか。おそらく各申請書を提出後、1週間で審査・指摘を行っていただき是正対応を行うサイクルが必要となります。	実施可能なスケジュールをご提案ください。
37	基本設計図書（案） P91	設計期間が短く、基本設計内容の見直し及び調整する期間無いため、基本設計内容からのVE提案内容以外の変更は無いと考えてよろしいでしょうか。また行政上の各種申請手続きによる遅延や配布資料からの条件変更が発生した場合は、条件変更協議を行い適正に処理頂くようにお願い致します。	変更の有無については、協議の上決定します。
38	基本設計図書（案） P91	本業務の工程において、2026.3.中旬の新棟着工が再優先されるため、申請手続き及び済証の発行が再優先と考えております。従って、ZEB Ready認証においては、工事着工後になる可能性もあります。また、完成された図面作成が難しい部分もあるため、工事着工後の設計補正及び工事費の増減変更調整が必然となりますが、そのような進め方が許容されているという理解でよろしいでしょうか。	協議の上決定します。
39	基本設計図書（案） P91	フェーズ0、フェーズ1、フェーズ2の工程がタイトなため、解体図面を作成し、官積算を行うような承認手続きは無いと考えて良いでしょうか。必要な場合、具体的な流れをお知らせください。	承認手続きは必要です。緊急防災・減災事業債の対象となるため、金額の根拠となった施工費内訳書を提出してください。施工費内訳書の作成方法は協議の上決定します。

質疑回答書（第2回）

令和7年2月17日 羽曳野市作成

質疑No.	資料名及びページ番号	質疑事項	質疑回答
40	基本設計図書（案） P91	フェーズ1の工事着手までの具体的な流れをおしえてください。土壌汚染対策法の手続きが約4ヶ月程度で完了するとした場合、ただちに解体工事に着手したいと考えております。解体図面の作成・官積算・施工者見積・発注者の確認・承認及び合意形成を得ないと工事着手はできないのでしょうか。ご教授ください。	確認・承認及び合意形成は必要となりますが、詳細は協議の上決定します。
41	基本設計図書（案） P91	フェーズ1のインフラバイパス工事で使用する高圧配線の納期が6～7か月程度かかります。フェーズ1の完了が伸びるとフェーズ2の着手が遅れフェーズ3の3月中の着手に支障がでます。フェーズ2～3を輻輳した工事とし、山留及び掘削を新庁舎工事の一部として着工としてよろしいでしょうか。	フェーズ3の3月中着手をマストとし、実施可能なスケジュールをご提案ください。ただし緊急防災・減災事業債に影響する内容であり、大阪府等との協議を今後予定していますので、進め方含めてDB事業者との協議によるものとします。
42	基本設計図書（案） P93	北側出入口のロータリー部の植栽ですが、安全な大型車両の出入りをするため撤去してもよろしいでしょうか。 	既存植栽は残置の方針ですが、大型車両の出入りの妨げとなる場合の移植・撤去は、協議によるものとします。なお、フェーズ5開始前までは議会棟下スペースを臨時駐車場として利用する計画のため、議会棟下までの一般車両動線は確保した計画としてください。
43	基本設計図 A-001	工事概要の工事範囲について、敷地造成の欄に造成や地盤改良、排水等の記載がありますが、内容は外構計画図によるものとし、記載ないものは該当無しと考えて宜しいでしょうか。そうでない場合、それぞれの内容・詳細を御指示下さい。	内容は外構計画図及び雨水排水計画図によります。擁壁等の詳細図を追加指示で提示しますので確認をお願いします。（追加指示資料02）
44	基本設計図 A-001	工事概要の工事範囲について、撤去工事が適用となっておりますが、撤去図が無く、外構で撤去する内容が不明です。御指示下さい。	撤去する工作物はA-501を参照し、既存の外構仕上の撤去を適切に見込んでください。
45	基本設計図 A-000-01	図面リスト1において、E-001～E-003 特記仕様書(1)～(3)の図面が御座いません。発行をお願いします。	別途資料を提示します。（【質疑45】特記仕様書 追加資料）
46	基本設計図 A-000-02	図面リスト2において、E-1001 自動火災報知設備 系統図の図面が御座いません。発行をお願いします。	別途資料を提示します。（【質疑46】自動火災報知設備系統図 追加資料）
47	基本設計図 A-000-02	図面リスト2において、E-B-112 弱電設備 改修 5階平面図の図面が御座いません。発行をお願いします。	別途資料を提示します。（【質疑47】E-B-112 追加資料）
48	基本設計図 A-004	各階フロア アスファルト防水(AI-1)の保護コンクリート仕様について、普通コンクリートFC18N S15、t=80、溶接金網 φ6 100×100と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	DB事業者にて適切に設定するようにしてください。
49	基本設計図 A-004	特記仕様書 9.1. アスファルト防水において、防水層保護のレガが適用となっておりますが、明確な該当施工範囲が不明です。基本設計で想定している値を提示してもらうことは可能でしょうか。	誤記ですのでこちらの内容はないものとして対応をお願いします。
50	基本設計図 A-005	特記仕様書 14.12 金属工事 ルーフドレンについて、図示とありますが該当図書が見受けられません。テラスの排水溝、ルーフドレンの排水経路と排水管径を御指示下さい。	テラスの排水溝については追加指示01「矩計図」に根拠を記載しています。基本的な排水の員数根拠についても追加指示資料07をご確認ください。
51	基本設計図 A-005 A-019	樋の材種について、特記仕様書では配管用鋼管(SGP白ガス管)、硬質塩化ビニル管、ポリ製バンドレス樋の記載がありますが、外部仕上表ではポリ製バンドレスパイプのみとなっております。本工事における施工範囲及び適用管径を御指示下さい。	外部仕上表を正として下さい。
52	基本設計図 A-006	特記仕様書 15左官工事 3セルフリング 材塗が適用の記載がありますが、仕上表等で該当の記載がありません。セルフリング 範囲を御指示下さい。	DB事業者にて適切に設定するようにしてください。
53	基本設計図 A-006	特記仕様書5において、ステン製建具の適用がありませんが、建具表にSSDがあるため適用有と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。適用有りとしてください。
54	基本設計図 A-006	特記仕様書5 16.11において、各キボックスは市販のキボックスに納入し～とありますが、このキボックスは特記仕様書8記載の電気錠収納箱とは別のものと考えて宜しいでしょうか。その場合、鍵の収納本数及びメーカー品番と併せて御指示下さい。	DB事業者にて適切に設定するようにしてください。
55	基本設計図 A-006	特記仕様書5 16.24その他に合わせガラス以外の強化ガラス・フロートガラス全面に飛散防止フィルムを貼り付ける、とありますが、建具表に記載無き場合も合わせガラス以外のガラス面には全て飛散防止フィルムが必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	建具表を正としてください。
56	基本設計図 A-006 A-301	ポリ製建具の性能について、下記のように違いがあります。建具特記仕様書を正と考えて宜しいでしょうか。 ・特記仕様書5-S-4、A-4、W-5、H-3、T-4 ・建具特記仕様書…S-4、A-4、W-4、T-2	よろしいです。
57	基本設計図 A-008 A-114	特記仕様書 19内装工事 14断熱材にて、押出法ポリスチレンフォーム保温板の適用のみですが、矩計図に発泡レン吹付の記載があり違いがあります。全体断熱範囲図について基本設計で想定している値を提示してもらうことは可能でしょうか。	全体断熱範囲図については作成しておりません。DB事業者にて適切に設定するようにしてください。
58	基本設計図 A-009	特記仕様書8において、電気錠収納箱とありますが、鍵の収納本数及びメーカー品番を御指示下さい。	DB事業者にて適切に設定するようにしてください。
59	基本設計図 A-019 A-306～A-310	上記質疑が正の場合、外部仕上表のカー・ステン仕上と違いがあります。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	「上記質疑が正の場合」について、質疑No. 58の内容との関連性が認められないため、回答ができません。

質疑回答書（第2回）

令和7年2月17日 羽曳野市作成

質疑No.	資料名及びページ番号	質疑事項	質疑回答
60	基本設計図 A-009	特記仕様書に記載の下記の仕様詳細、設置場所、員数が不明です。御指示下さい。 ・天井点検口 450角 目地タイプ ・案内板 ・屋内掲示板 ・全埋込タイプ 扉付消火器 [※] ユニット ・床置き式消火器 [※] ユニット ・外部用SUS製扉付消火器 [※] ユニット ・外部コンソール用支柱 ・散水栓収納箱 ・電気錠収納箱	DB事業者にて適切に設定するようにしてください。
61	基本設計図 A-009 A-102	地下ビットについて、特記仕様書にて、床点検口の記載がありますが、ビット図でマンホールの記載のみで床点検口の設置範囲が不明です。御指示下さい。	マンホール記載部分が床点検口となります。
62	基本設計図 A-010	特記仕様書8や特記仕様書9について、外構の舗装工事や植栽工事で設計図に図示されている場合は、設計図の内容を優先する。とありますが、設計図に記載無い項目は該当無しと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
63	基本設計図 A-014～017	改修建物において、既存図は屋外階段の床面積を算入していますが、基本設計図では、屋外階段の床面積が含まれておりません。屋外階段の床面積については、どちらが正しいでしょうか。	既存図が正となります。
64	基本設計図 A-019	外部仕上表の外構の以下の項目について、範囲及び詳細がありません。御指示下さい。 1) 消防水利（防火水槽） 2) 外構別館 犬走り・ポーチ・スラブ 3) 外構別館 花壇・立上り	1) 追加指示資料09を確認ください。 2) 3) 既存図に記載がないため、こちらの内容は想定で見込んでください。
65	基本設計図 A-019	別館改修について、下記の不明点を御指示下さい。 1) 屋根改修において、断熱材の防水範囲及び塩ビ系シート防水の改修内容が『補修』となっておりますが、具体的な補修方法が不明です。御指示下さい。 2) 外壁 磁器質タイル面の浮きひび割れ補修について、全数調査の上、補修方法・施工数量を決定と考えて宜しいでしょうか。 3) タイル空木 ひび割れ・シーリング補修について、全数調査の上、補修方法・施工数量を決定と考えて宜しいでしょうか。 4) 外部仕上表 備考欄に『A-1』等の符号の記載がありますが、仕上げ凡例を示す場合、詳細を御指示下さい。	1) 2) 3) 別途資料（外壁調査報告書）を提示します。内容をご確認のうえ、DB事業者にて適切な改修内容をご提案ください。 4) 備考欄のA-1等は既存図仕上げ表に記載のある記号を転記したのになります。
66	基本設計図 A-019 A-114	テラス 植栽 [※] について、外部仕上表ではグラウターFRP 仕上げタイル紋り・叩き加工・粉末焼付塗装となっておりますが、矩計図ではGRC300 H300 DPとなっております。上記は同じものでしょうか、相違するものでしょうか。また、双方適用で使い分けがあるのでしょうか。適用範囲及び部材詳細を御指示下さい。	同じものを示しております。
67	基本設計図 A-019 A-103 ～ A-111	各階平面図に記載のある目隠しルーバーは外部仕上表の目隠しフェンス 7mm製 25×100 ①100と同意と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
68	-	上記質問について、目隠しルーバーの地下鉄骨詳細が不明です。御指示下さい。	DB事業者にて適切に設定するようにしてください。
69	基本設計図 A-020～023 A-201～206	間仕切壁詳細が不明です。下記を御指示下さい。 □防火区画壁 耐火間仕切仕様を御指示下さい。 □一般間仕切壁LGSは床スラブ～天井と考えて宜しいでしょうか。 □内部仕上表にて、壁下地にGW充填の記載がありますが、GWはt=50 32kg/m ³ 、LGSと両面下地 [※] ボード含め、設置高さは床スラブ～スラブと考えて宜しいでしょうか。	□DB事業者にて適切に設定するようにしてください。 □よろしいです。 □よろしいです。
70	基本設計図 A-020	1階雨水ろ過室について、仕上表に防水立上りの記載がありませんが不要でしょうか。御指示下さい。	防水立上り有りとしてください。
71	基本設計図 A-020	4階シャワー室の床について、仕上表に嵩上げコンクリートの上長尺塩ビシート [※] の記載がありますが、コンクリート下部に防水下地は不要でしょうか。必要な場合、防水立上り高さを御指示下さい。	既成品シャワーユニットを据える想定としており、一般的なユニット自体で防水性能が確保されているという想定のため防水下地は不要と考えます。
72	基本設計図 A-020	風除室等の幅木について、仕上表にステンレス幅木の記載がありますが、ステンレスSPLの厚みが不明です。御指示下さい。	DB事業者にて適切に設定するようにしてください。
73	基本設計図 A-020	風除室、エントランスホール等の天井について、仕上表に鋼製下地、設備塗装の記載がありますが、詳細が不明です。鋼製下地の部材仕様、範囲、設備塗装の仕様を御指示下さい。	すべての天井内に現しになっている、ダクトや吊り材等金属製のものはSOP、コンクリート面等はEPで塗装するように見込んでください。
74	基本設計図 A-020 A-114	1階エントランスホールの床について、内部仕上表と矩計図に断熱材敷込の記載がありますが、下記を御指示下さい。 □断熱材敷込の仕様と厚さが不明です。御指示下さい。 □断熱材敷込の範囲が不明です。御指示下さい。 □断熱材敷込上部の押えコンクリートの厚さを御指示下さい。 □上記押えコンクリート内の溶接金網仕様を御指示下さい。	下部水槽系ピットの場合ピット天井部に断熱を見込んでください。その他詳細については追加指示資料01「矩計図」をご確認ください。
75	基本設計図 A-020 A-021	各WCの天井について、仕上表にGW敷き込みの記載がありますが、グラスウール仕様はt=50 32kg/m ³ と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
76	基本設計図 A-020 A-021	下記の部屋について、仕上表 備考に設備基礎の記載がありますが、サイズが不明です。御指示下さい。 ・オイルファン [※] 室 ・雨水ろ過室 ・消火ポンプ [※] 室 ・空調機械室	別途資料を提示します。（〔DB質疑76、157〕設備機器基礎リスト）
77	基本設計図 A-020	4階シャワー室について、仕上表 備考に下記の記載がありますが、仕様詳細が不明です。御指示下さい。 ・シャワーブース ・カテナール ・カーテン	それぞれDB事業者にて適切に設定するようにしてください。

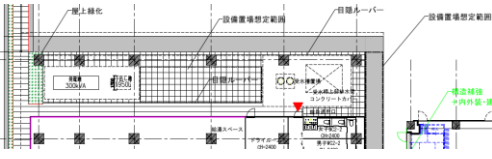
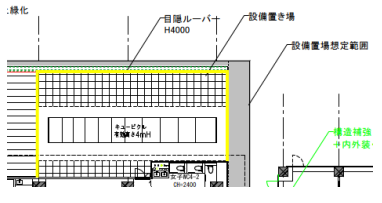
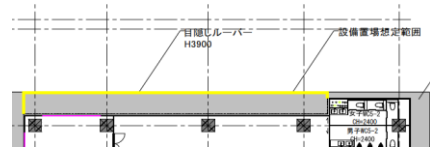
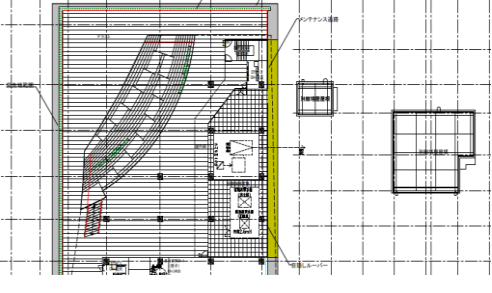
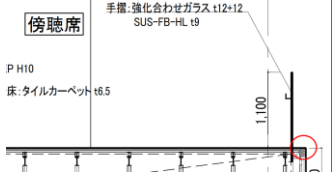
質疑回答書（第2回）

令和7年2月17日 羽曳野市作成

質疑No.	資料名及び ページ番号	質疑事項	質疑回答
78	基本設計図 A-020	1階ゴミ集積場について、仕上表 備考に地流しの記載がありますが、詳細が不明です。御指示下さい。	600口程度、現場打、立ち上がり150、ウレタン塗膜防水（メッシュ入り）、目皿：スルス既製品φ100、給水設備（設備工事）を見込んでください。
79	基本設計図 A-020	2階共用スペース会議室について、仕上表 備考にスクリーンボックスの記載がありますが、仕様と設置範囲が不明です。御指示下さい。	XA3にW4000、D250程度SOPを2か所見込んでください。
80	基本設計図 A-020	2階トイレについて、仕上表 備考に物干し（天井吊り下げ式）の記載がありますが、仕様詳細が不明です。御指示下さい。	既製品の天井吊り下げ式の物干しを見込んでください。
81	基本設計図 A-020 A-021	下記室の仕上表 備考に化粧鏡、姿見鏡の記載がありますが、サイズが不明です。御指示下さい。 ・3階WC・洗面（執務室3-5） ・4階シャワー室 ・各階WC	化粧鏡（洗面ごとに設置）はH1200、W600、姿見（各トイレ1か所）はH1800、W600を見込んでください。
82	基本設計図 A-021	5階傍聴席について、仕上表 備考に床下可動収納の記載がありますが、仕様詳細が不明です。御指示下さい。	レール引き出し式（体育館等のステージ下収納）を想定してください。
83	基本設計図 A-021	5階議会事務局について、仕上表 備考に受付SUSカウンターの記載がありますが、サイズと仕様不明です。御指示下さい。	W2000、D600、パイプレーションを見込んでください。
84	基本設計図 A-021	2～4階各執務室の壁について、仕上表に防水バスの記載がありますが、設置範囲と仕様不明です。御指示下さい。	各執務室に設置を想定している給湯スペースを想定しています。
85	基本設計図 A-021	6階歴史展示ギャラリーについて、仕上表 備考に展示台の記載がありますが、仕様とサイズが不明です。御指示下さい。	仕上表の記載は誤記であり、展示台は別途工事とします。
86	基本設計図 A-021	各階男子WCについて、仕上表 備考に汚垂石の記載がありますが、仕様不明です。御指示下さい。	DB事業者にて適切に設定するようにしてください。
87	基本設計図 A-021	仕上表 備考にEXP. Jの記載がありますが、仕様詳細が不明です。御指示下さい。	DB事業者にて適切に設定するようにしてください。
88	基本設計図 A-021	5階傍聴席について、仕上表に床下地が鉄骨の記載がありますが、詳細が不明です。御指示下さい。	構造の荷重設定としては、鋼製束+床仕上げで100kg/m2の想定としています。
89	基本設計図 A-021	5階傍聴席について、仕上表に床下地が合板の記載がありますが、t=12と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	DB事業者にて適切に設定するようにしてください。
90	基本設計図 A-021	5階WC等の一部の部屋の天井フロア高さが3.5mを超えますが、鉄骨ブドウ棚等の天井吊下地は不要でしょうか。必要な場合、ブドウ棚範囲とブドウ棚の各部材サイズを御指示下さい。	5階は議会、傍聴席以外の室についてぶどう棚は必要と考えます。部材サイズはDB事業者にて適切に設定するようにしてください。
91	基本設計図 A-021	屋内階段1・2について、内部仕上表に踊場の床下地がt=40 MKの記載がありますが、踏面も同様の下地と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
92	基本設計図 A-021	上記質疑に関連し、ミタル内に溶接金網 φ3.2 50×50を見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
93	基本設計図 A-022	天井改修について、天井イサットは既存再利用と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
94	基本設計図 A-101	配置図について、駐輪場・バイク置場等の屋根が新設屋根となっておりますが、外構図にありません。各場所ごとに屋根の仕様や基礎等の詳細を御指示下さい。	アルミ既製品を見込んでください。
95	基本設計図 A-101	配置図について、以下の項目について、詳細が不明です、御指示下さい。 1) 既存水路暗渠化 2) 敷地外道路 歩道切下げ	1) 追加指示資料02を確認ください。 2) 切り下げ部分は敷地内耐重舗装と同等としてください。（追加指示資料10）
96	基本設計図 A-102	地下ピットについて、平面図に釜場の記載がありません。釜場サイズ、設置場所、釜場内仕上を御指示下さい。	サイズは1000×1000×500としてください。場所は各水槽に1つとしてください。仕上は水槽系ピットと同様のケイ酸質系塗布防水としてください。
97	基本設計図 A-103～107	改修建物において、現状で法的な既存不適合箇所は無いと考えて宜しいでしょうか。	追加指示資料03、04をご確認ください。 EV、シャッターが既存不適格に当たると考えます。
98	基本設計図 A-103～A-109	屋外階段の踊場、踏面、蹴上の仕上詳細が不明です。御指示下さい。	踊場、踏面、はテラスの床仕上げと同様、蹴上は仕上げなしとしてください。

質疑回答書（第2回）

令和7年2月17日 羽曳野市作成

質疑No.	資料名及び ページ番号	質疑事項	質疑回答
99	基本設計図 A-104	2階平面図 YA8～9通 設備置場について、下記の不明点を御指示下さい。 1)床の防水仕様はアスファルト防水AI-1とし、庇との境に立上りH300を見込むと考えて宜しいでしょうか。 2)床仕上げは防水保護コンクリート金鍍押えと考えると宜しいでしょうか。 3)設備置場想定範囲において見込むべき項目を御指示下さい。 4)受水槽上部排水管コンクリートガ-の詳細を御指示下さい。 5)設備基礎詳細を御指示下さい。 	1)防水仕様はよろしいです。庇との境には立上りは設けないようにしていただきたいと思います。 2)よろしいです。 3)設備基礎、目隠しルーバーとなります。 4)DB事業者にて適切に設定するようにしてください。 5)DB事業者にて適切に設定するようにしてください。
100	基本設計図 A-106	4階平面図 YA8～9通 設備置場について、下記の不明点を御指示下さい。 1)床仕上げは防水保護コンクリート金鍍押えと考えると宜しいでしょうか。 2)目隠しルーバー-施工範囲について、下図 黄色着色範囲と考えると宜しいでしょうか。 3)設備置場想定範囲において見込むべき項目を御指示下さい。 4)設備基礎詳細を御指示下さい。 	1)よろしいです。 2)よろしいです。 3)設備基礎、目隠しルーバーとなります。 4)DB事業者にて適切に設定するようにしてください。
101	基本設計図 A-107	5階平面図 YA8～9通 設備置場想定範囲について、下記の不明点を御指示下さい。 1)目隠しルーバー-施工範囲について、下図 黄色着色範囲と考えると宜しいでしょうか。 2)設備置場想定範囲において見込むべき項目を御指示下さい。 	1)よろしいです。 2)設備基礎、目隠しルーバーとなります。
102	基本設計図 A-108	6階平面図 メンテナンス通路について、下記の不明点を御指示下さい。 1)メンテナンス通路床 スチール製有孔板 下の部材詳細及び鋼製下地詳細を御指示下さい。 2)メンテナンス通路範囲は下図 黄色着色範囲と考えると宜しいでしょうか。 	1)コンクリート金鍍押えとしてください。 2)黄色部分も周囲と一体の仕様として考えてください。
103	基本設計図 A-107	5階傍聴席について、平面図に階段、20-2の記載がありますが、下記が不明です。御指示下さい。 ・床下地は鋼製床組+合板と考えると宜しいでしょうか。 ・階段蹴込部の仕上が不明です。御指示下さい。 ・矩計図 下図赤枠内の取り付け部納まりが不明です。御指示下さい。 	・よろしいです。 ・床タイルカーペットと同様の仕上げとしてください。 ・引き出しが赤く囲まれた部分の框で止まるよう納めるようにしてください。
104	基本設計図 A-109	古墳の丘テラスの構造が分かりにくいので、もう少し詳細がわかる資料をご提示頂くことは可能でしょうか。（部分詳細図やBIMモデル）	現在お出ししている図面以上の情報が分かる図面やモデルはございません。

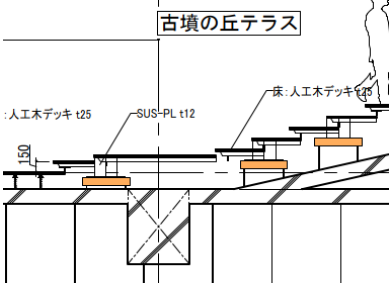
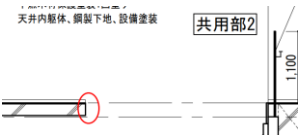
質疑回答書（第2回）

令和7年2月17日 羽曳野市作成

質疑No.	資料名及びページ番号	質疑事項	質疑回答
105	基本設計図 A-109	古墳の丘テラスは、テラスへ行くために「段状の通路」や「階段状の段」で構成されておりますが、傾斜側（低い側）への転落防止用の手摺などは不要と考えてよいでしょうか。必要な場合、範囲をご提示ください。また車椅子が古墳の丘テラスまでアプローチすることは無いと考えて良いでしょうか。	不要と考えてよろしいです。車いすもアプローチできるよう緩やかなスロープとしております。
106	基本設計図 A-110、111	外壁の劣化範囲が不明となるため、外壁劣化調査報告書または劣化状況図をご提示をお願いします。	別途資料（外壁調査報告書）を提示します。
107	基本設計図 A-111	別館既存外部仕上表 凡例について、下記を御指示下さい。 ①凡例A、Bより屋根の補修がありますが、具体的補修内容及び範囲を御指示下さい。 ②浮きひび割れ補修の記載がありますが、ひび割れの範囲及びひび割れのサイズが不明です。御指示下さい。 ③凡例Mの外壁に補修がありますが、具体的補修内容及び範囲を御指示下さい。 ④YB7～8間に建具更新とありますが、更新詳細が不明です。御指示下さい。 ⑤改修指示の範囲の外壁について、仕上材のやり替え及びシールの打替などは必要でしょうか。	別途資料（外壁調査報告書）を提示します。
108	基本設計図 A-111 A-113	別館南立面図及び別館D-D' 断面図において、内外装・建具更新とありますが、具体的な改修内容と、既存サッシの更新の範囲を御指示下さい。	追加指示資料04をご確認ください。
109	基本設計図 A-112	グリッジ及び渡り廊下EXP. J部に適用するEXP. Jかゝ詳細が不明です。御指示下さい。	DB事業者にて適切に設定するようにしてください。
110	基本設計図 A-114	階段手摺の仕様は2階共用部2の矩計図に記載のがう手摺と同仕様と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
111	基本設計図 A-114	テラス アスファルト防水立上り納まりについて、下図 赤着色範囲をアスファルト防水範囲とし、立上り端部は7mm水切り納まりと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	防水の考え方を記載しましたので追加指示資料01を確認ください。
112	基本設計図 A-114	テラス底の弾性吹付塗装範囲について、下図 赤着色範囲と考えて宜しいでしょうか。	赤色範囲に加えて、オレンジ部分も見込んでください。
113	基本設計図 A-114	矩計図 XA5通 5FL底部分において、『塗装無し』との記載がありますが該当施工範囲が不明です。基本設計で想定している値を提示してもらうことは可能でしょうか。	「塗装無し」の記載は誤記です。他の底と同様の弾性吹付を見込んでください。

質疑回答書（第2回）

令和7年2月17日 羽曳野市作成

質疑No.	資料名及びページ番号	質疑事項	質疑回答
114	基本設計図 A-114	矩計図に記載のある古墳の丘テラス 床:人工デッキ下部の基礎について、計画建物の柱頭と考えて宜しいでしょうか。また、下図「ルン」色着色範囲の基礎天端は塗膜防水 X-2を見込むと考えて宜しいでしょうか。基本設計で想定している値を提示してもらうことは可能でしょうか。 	よろしいです。
115	基本設計図 A-114	市民ギャラリー等について、矩計図 下図赤枠内の外壁前梁型の下地仕様、仕上が不明です。御指示下さい。 	DB事業者にて適切に設定するようにしてください。
116	基本設計図 A-114	エントランスホールについて、矩計図 下図の床スラブ開口の小口部の仕上が不明です。御指示下さい。 	エントランスホールにて小口部分が出てくる部分はないため、誤記となります。
117	基本設計図 A-201～206	防火区画図に防煙区画(可動式防煙垂壁)の凡例の記載がありますが、平面図に該当範囲の記載がありません。不要と考えて宜しいでしょうか。	不要と考えてよろしいです。
118	基本設計図 A-301	建具特記仕様書において、ガラスの仕様がガラスFBt6.0とありますが、まぐさ・座板の仕様が不明です。ガラスHLと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
119	基本設計図 A-306～310	ACW、AW額縁の仕様の記載がありません。御指示下さい。	枠仕上げ電解（二次電解着色）、額縁はSOPとしてください。
120	基本設計図 A-306～310	建具表記載の複層ガラスについて、Low-E複層ガラスt6+A12+t6とありますが、ガラスの構成はLow-E6+A12+70tガラスt6と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
121	基本設計図 A-311	SGW101, SGW102について、仕上が不明です。SOP塗と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
122	基本設計図 A-311	ガラスウォールGW及びガラスADについて、枠の詳細が不明です。スチール SOP塗装と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
123	基本設計図 A-311	下記の項目のメーカー品番を御指示下さい。 1) 飛散防止フィルム(メモーク) 2) 飛散防止フィルム(ルーフマター) 3) 飛散防止フィルム(合わせガラス面以外)	DB事業者にて適切に設定するようにしてください。
124	基本設計図 A-401	外構計画図について、外構の計画地盤レベルが不明です。基本設計で想定している値を提示してもらうことは可能でしょうか。	平均地盤面10.46mを想定しています。
125	基本設計図 A-401、402	外構計画図の舗装や土留め・外構手摺、雨水計画図の樹や側溝の記載がありますが、詳細図がありません。外構詳細図があれば御指示下さい。	舗装は外構計画図の凡例を参照ください。 土留めは追加指示資料を参照ください。 外構手摺りはテラスと同様の仕様としてください。 樹、側溝はDB事業者にて適切に設定するようにしてください。
126	基本設計図 A-401	外構計画図の凡例上部に仕上切り替え段差無しに縁石とありますが、明確な範囲が不明です。御指示下さい。	歩車境界及び縁地と舗装の間に見込んでください。
127	基本設計図 A-403、404	植栽計画図1及び植栽計画図2について、注意事項に客土は補足資料に準ずるとありますが、以下の点を御指示下さい。 1) 補足資料がありません。特記仕様書の内容で見込むものと考えて宜しいでしょうか。 2) 1)を正とする場合、植栽基盤整備はA種、植込み用土は現場発生土の良質土及び客土(畑土)が適用となっております。客土(畑土)を適用し、客土のH寸法は300と考えて宜しいでしょうか。	1)2)ともよろしいです。
128	基本設計図 A-406	外構のサイン基礎について、地業及び配筋の詳細が不明です。御指示下さい。	DB事業者にて適切に設定するようにしてください。

質疑回答書（第2回）

令和7年2月17日 羽曳野市作成

質疑No.	資料名及びページ番号	質疑事項	質疑回答
129	基本設計図 A-501	解体建物は既存図面が無いものが多いため、解体建物の図面はCAD化せず貸与資料を最大限活かし、現地写真、建物リスト（構造・規模）、仕上表で整理するなど考えていますがよろしいでしょうか。	よろしいです。
130	基本設計図 A-501	解体建物の積算は官積算では無く、設備包含として一式見積で対応でさせて頂くことを考えていますがよろしいでしょうか。	緊急防災・減災事業債の対象となるため、金額の根拠となった施工費内訳書を提出してください。施工費内訳書の作成方法は協議の上決定します。
131	基本設計図 A-501	配置図に記載のある48電話ボックスは、建物リストでは植栽帯と記載されており相違しており、また50～52は配置が不明なため配置図に示していただけますでしょうか。	「48電話ボックス」は誤記です。49が正となります。50～52はDB事業者にて調査のうえ、必要に応じ実施設計に反映願います。
132	基本設計図 A-501	既存施設解体範囲図について、移設または新設の項目に各所石碑等の項目がありますが、図示が無く、詳細が不明です。御指示下さい。	石碑等はDB事業者にて調査のうえ、必要に応じ実施設計に反映願います。
133	基本設計図 E-101	高圧受変電設備について、区分開閉器は電力会社工事となるため、高圧引込に雷対策（アレスタ）が必要になると思いますが、不要で良いですか。ご教授お願いいたします。	見込む計画としてください。
134	基本設計図 E-101	受変電設備キュービクルにおいて、別館送りに高圧幹線を2系統送られていますか。同じ系統で2本送られています。2本送る必要性をご教授願います。（本線予備線で送るのであれば受電盤側に母線連絡が必要で	サブ変となるので別館送りは1系統で問題ございません。
135	基本設計図 E-101	受変電設備キュービクルにおいて2回線受電切換及びVCB発停制御を中央監視から行う必要がありますか。必要であるなら停電時のVCB操作について電源の考え方をご教授お願いいたします。直流電源を設ける必要はないですか。	中央監視側でVCBの操作が必要となります。停電時のVCB操作としてご指摘の通り直流電源にて操作となります。
136	基本設計図 E-103	発電機設備について、低圧発電機300KVAですが、空調保安負荷139.18KW、排水ポンプ負荷31KW、給水ポンプ負荷19.2KW、消火ポンプ負荷11KW、排煙負荷37KW、スロット変圧器負荷300KVAです。一般停電時で536.5KVAです。火災停電時で360KVAです。発電機は最低でも750KVA程度必要になりますが、発電機負荷の考え方をご教授お願いします。	火災時で排煙負荷37kW及び消火ポンプ負荷11kWとで定格出力154kVA程度必要となることから300kVAとしています。また保安負荷は100%で計算すると大きくなってしまいますことから需要率をかけています。
137	基本設計図 E-103	上記の回答内容において、発電機容量が625KVA程度であれば10,000リットル必要になります。発電機の燃料消費量が1日24時間で1950リットルを超える場合は一般取り扱い所になり屋外発電機の設置場所を変更する必要がありますがよろしいでしょうか。ご教授ください。	質疑No. 136に記載のとおりです。
138	基本設計図 E-203	別館棟において、来庁者駐車場には駐車場管制設備計画が必要かご教授お願いいたします。	別館部分についても見込むようにしてください。
139	基本設計図 E-306	手摺間接照明で下記照明記号がE-301～303照明器具姿図に御座います。 ・0L1-op1、0L-op2 ・0L2-14、0L2-08、0L2-02、0L-01 ・0L2-op1、0L2-op2 参考型番を御指示下さい。	別途資料を提示します。（【質疑139】照明参考型番_追加資料）
140	基本設計図 E-306	E-303照明器具姿図の0L1の電源にツガ非調光タイプの為、手摺間接照明:0L1(LEDsバー)及び0L2(LEDsフェープ)の点滅方式はスケジュール点滅(タイマースイッチ)と考えます。宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
141	基本設計図 E-904～910	入退室管理設備において、別館棟に入退室管理設備を設置するようになっています。03-01 基本計画図A-305で建築工事として建具改修工事(電気錠)が御座います。03-01 基本設計図E-904～910通りと致しますがよろしいですか。ご教授お願いいたします。	よろしいです。
142	基本設計図 E-B-101	受変電設備 改修 単線結線図において、改修内容をご教授お願いいたします。	新本館竣工後、別館キュービクルはサブ変とし利用する為、高圧接続の盛換えが工事内容となります。
143	基本設計図 EB-108～111	改修項目 電話モジュージャック及びLAN用、カバープレートの更新を行う。 配管配線は既存を再利用すると記載しています。カバープレートの更新の場合、配線の切離し再接続は必要ないかと思います。ご教授お願いいたします。	ご指摘の通り配線の切り離しは必要ございません。誤記となります。
144	基本設計図 M-001	No13, 14, 15の官底深さがGL-3.8mから-4.8m程度の深さの部分がありますが、開削工事では対応できない深さと想定されますが、このような深さになっている理由をご享受頂きたい。	以下2点が主な理由です。 ・既存枓から末端の下水本管接続までの距離が長く、かつ下水道課基準に準じた勾配設定のため。 ・⑬の枓以降から地盤面が1500ほど、高く丘状になっているため。
145	基本設計図 M-004	給排水配管等、材質記載がありますが、仕様書内に材質変更は可能と考えてよろしいでしょうか。	配管材質変更は協議のうえ可能とします。
146	基本設計図 M-202～210	排煙口のブロット、器具リストがありましたらご提示をお願いします。	別途追加資料を提示します。（【質疑146】排煙設備_追加資料）
147	基本設計図 A-012 A-112	新本館において、1FLレベルがKB(〇〇,〇〇)いくらかが不明です。基本設計で想定してる値を提示してもらうことは可能でしょうか。	質疑No. 124に記載のとおりです。
148	基本設計図 A-003 S-A01	埋戻し土・盛土について、根切り土(B種)と考えて宜しいでしょうか。又、根切り土が場内に仮置き出来ない場合は場外搬入(C種)と考えて、宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
149	基本設計図 A-114 S-003	A-114図、S-003図よりベタ基礎下部は【深層地盤改良+砕石t60+捨てコンt50+ポリエチレンシートt0.15】と考えて、宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
150	基本設計図 A-008 A-112 S-005	A-112図 B-B':XA4 XA9通り、C-C' 断面:YA1 YA9通りに記載のビット外にある基礎梁外部に跳ね出している土に接するスラブ下には【砕石t60+捨てコンt50+ポリエチレンシートt0.15+ポリスチレンフォームt25】を見込むと考えて、宜しいでしょうか。御指示下さい。	質疑No. 149に記載のとおりです。

質疑回答書（第2回）

令和7年2月17日 羽曳野市作成

質疑No.	資料名及びページ番号	質疑事項	質疑回答
151	基本設計図 S-002	深層地盤改良において、ウルトラコラム工法同等の工法も使用可能と考えて、宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
152	基本設計図 S-A01	本工事において、S-A01図 3.6.3に記載の地盤載荷試験は不要と考えて、宜しいでしょうか。異なる場合、a～dの詳細を御指示下さい。	地盤載荷試験は不要です。
153	基本設計図 A-114 S-004	基礎梁～耐圧版ビット打継部・建物外周に止水板として、非加硫ブチルゴム製のものを見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
154	基本設計図 A-102 S-020	基礎梁断面寸法がA-102図とS-020図とで、食い違っています。S-020図を正と考えて、宜しいでしょうか。異なる場合、S-020図の修正図をご提示願いませんかでしょうか。御指示下さい。	S-020図を正とお考えください。
155	基本設計図 A-102 S-004	基礎梁、ビット天端・下端レベルがA-102図とS-004図で食い違っています。S-004図を正とし、EVビット床は下部FS50・50a上部S15の二重床と考えて、宜しいでしょうか。御指示下さい。	S-004図を正とし、EVビット床は、下部：質疑の通り、上部：S30（新規符号、厚さ300mm、上下ともD13@150もちあみ配筋）としてください。
156	基本設計図 S-A02	コンクリートの単位セメント量が不明です。公共建築工事標準仕様書(令和04年版)より単位セメント量270kg/m3以上と考えて、宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。 ただし、高強度コンクリートで大臣認定コンを想定される場合は、認定内容に倣うとお考えください。
157	基本設計図 A-020 A-103～108	各階平面図 機械室・ポンプ室・設備置き場において、設備基礎の記載がありますが、W*D*H断面寸法が不明です。基本設計で想定している値を提示してもらうことは可能でしょうか。	別途資料を提示します。（【DB質疑76、157】設備機器基礎リスト）
158	基本設計図 A-020 A-103～108 S-001	設備基礎コンクリートの配合はFc21-S15と考えて宜しいでしょうか。又、耐久設計基準強度(Fd)及び構造体強度補正(S)は適用しないと考えて、宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
159	基本設計図 S-A02 S-020	本工事において、マスコンクリート適用範囲はないものと考えて、宜しいでしょうか。異なる場合、適用範囲並びに必要な対策等を御指示下さい。	地中範囲のコンクリートにマスコンクリートの適用を想定しています。対応はS-A02図、公共建築工事標準仕様書(令和04年版)によります。
160	基本設計図 A-114 S-001	A-114図 エントランスホールの構造床上部に嵩上げコンクリートがあるように見受けられますが、コンクリート配合と配筋要領が不明です。御指示下さい。	エントランス構造床上部の嵩上げ部分はモルタル洗出の仕上げ分のモルタルになります。
161	基本設計図 A-114 S-005	上記の嵩上げコンクリートが必要な範囲はS-005図 スラブ上端 1FL-300・1FL-250の範囲のみと考えて、宜しいでしょうか。御指示下さい。	1FL-250の範囲のみとしてください。1FL-300の売店部分は本体工事としては-300の構造スラブが仕上げとなる想定としています。
162	基本設計図 A-114 S-029	S-029図 古墳の丘テラス構造概念図において、仕上げ高さ中時はスラブ上にスタイロフォーム+嵩上げコンとありますが、こちらに使用されている嵩上げコン配合や配筋要領等詳細が不明です。御指示下さい。	嵩上げコンは、直下のスラブと同断面とお考えください。ただし、コンクリートはFc24-S18としてください。
163	基本設計図 S-001 S-029	S-029図 古墳の丘テラスにおいて、すべり支承上部の短柱と下部のRC立上りのコンクリート配合はFc30-S18と考えて、宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
164	基本設計図 S-021 S-029	S-029図 古墳の丘テラスにおいて、すべり支承上部の短柱配筋要領は6階の6C1に倣うものと考えて、宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
165	基本設計図 S-029	S-029図 古墳の丘テラスにおいて、すべり支承下部立上りの配筋要領が不明です。御指示下さい。	すべり支承上部と同様に6階の6C1に倣うとお考えください。
166	基本設計図 A-019	押えコンクリート内にはひび割れ防止として、溶接金網φ6mm 100*100を見込むものと考えて、宜しいでしょうか。御指示下さい。	防水用の押さえコンであれば、ひび割れ防止は不要と考えます。
167	基本設計図 S-024 S-011	構造スリットにおいて、水平スリット厚みはW=t25mmと宜しいでしょうか。御指示下さい。	図面の記載に倣い、鉛直スリットと同厚とお考えください。
168	基本設計図 S-021	柱H00P筋において、高強度せん断補強筋も外周部は溶接閉鎖型、中子筋はフック型と考えて、宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
169	基本設計図 S-022～23	梁STP筋において、異形・高強度せん断補強筋共に外周部と中子筋両方フック型と考えて、宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
170	基本設計図 A-104 S-025	A-104図 吹き抜け部と屋外に階段の記載がありますが、詳細が不明です。屋内階段1・2に倣う鉄骨階段と考えて、宜しいでしょうか。基本設計で想定している値を提示してもらうことは可能でしょうか。	吹き抜け部と屋外の階段については、水平投影面積当たり250kg/m2の鉄骨数量を見込んでいます。
171	基本設計図 A-104 S-001 S-025	上記が正とした場合、屋外鉄骨階段は溶融亜鉛メックの上DP塗装と考えて、宜しいでしょうか。御指示下さい。	鉄骨部は追加指示資料01「矩計図」を参照ください。 鉄骨部分柱梁部分は耐火塗料、その他鋼製下地溶融亜鉛メッキの上DPとしてください。また踏面はテラスと同様のデッキ仕上げ、手すりはテラス同様の手すりとしてください。
172	基本設計図 S-207	新設壁について、記載の鉄筋以外にSPイロ筋・後施工アンカーやグラウトの圧入が必要な場合は詳細を御指示下さい。	新設壁の要領についてはS-X03の鉄筋コンクリート壁 補強標準図に準じます。そこに記載ない情報については、DB事業者の判断に依るものとします。

質疑回答書（第2回）

令和7年2月17日 羽曳野市作成

質疑No.	資料名及びページ番号	質疑事項	質疑回答
173	基本設計図 S-207	ハイデッキについて、仕様詳細を御指示下さい。	ハイデッキはJFEのフラットデッキの商品名です。あくまで一例で、その他工法又はその他フラットデッキにて、構造的安全性が確認できる場合、この限りではありません。
174	基本設計図 S-204	新設壁について、スリットは必要でしょうか。仕様と併せて御指示下さい。	新設壁は既存耐震壁の減築に対する耐力確保のための冗長一案です。新設壁を設けずとも十分に耐力が依然あることを示す場合は、新設壁は不要という道筋もあります。基本設計時ではスリットは考えていません。
175	外部	外部増し打ちコンクリート厚について、t=20を見込むと考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。
176	新本館	外壁面の壁下地が不明です。石膏ボード GL工法もしくは添壁LGSのどちらかを御指示下さい。	石膏ボード GL工法としてください。
177	新本館	内部柱型の下地が不明です。御指示下さい。	石膏系接着剤によるRC柱型へのボード直張りを想定しています。
178	新本館	0A707下部に防塵塗装を見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
179	新本館	下記のメーカー名・品番が不明です。指定がありましたら御指示下さい。 ・床 タイルカーペット t=6.5 ・床 長尺塩ビシート t=2.0 ・床 長尺塩ビシート t=2.0 消臭 ・床 長尺塩ビシート t=2.0 消臭・抗菌 ・床 フローリング t=12 ・床 防塵塗装 ・床 再生木デッキ ・床 浸透性表硬化剤 ・床 0A707 ・ソト巾木 ・壁 特殊左官 ・壁、天井 特殊和紙壁紙 ・壁 ビニールクロス ・天井 岩綿吸音板 t=9.0 ・天井 不燃木デッキイン張 ・床、壁 ケイ酸質系塗布防水	・床 タイルカーペット t=6.5 →執務室はサンゲツNT350同等品以上、議場エリア（t9.0）はサンゲツNT700同等品以上を見込んでください。 ・床 長尺塩ビシート t=2.0 →屋内階段、廊下1-2・2-2・3-2・4-2・5-2、授乳室はエスリウム・リアル同等品以上を見込んでください。 その他指定なし ・床 長尺塩ビシート t=2.0 消臭 →サンゲツ 消臭レストリウム同等品以上を見込んでください。 床 長尺塩ビシート t=2.0 消臭・抗菌 →サンゲツ 消臭レストリウム同等品以上を見込んでください。 ・床 フローリング t=12 →品番なし 昭和洋権取扱品同等品以上としてください。 ・床 防塵塗装：指定なし ・床 再生木デッキ →品番なし 昭和洋権取扱品同等品以上としてください。 ・床 浸透性表硬化剤：指定なし ・床 0A707 →品番なし 共同カイテック取扱品同等品以上としてください。 ・ソト巾木：指定なし ・壁 特殊左官 →品番なし 都倉左官取扱品同等品以上としてください。 ・壁、天井 特殊和紙壁紙 →品番なし KAMISM取扱品同等品以上としてください。 ・壁 ビニールクロス：指定なし ・天井 岩綿吸音板 t=9.0 →吉野石膏ソーラトンカラーシステム同等品以上としてください。 ・天井 不燃木デッキイン張 →左記の仕様を参考に見込んでください。 ・床、壁 ケイ酸質系塗布防水：指定なし
180	別館	下記新設のメーカー名・品番が不明です。指定がありましたら御指示下さい。 ・床 タイルカーペット t=6.5 ・壁 無機質壁紙 ・天井 岩綿吸音板 t=15(システム天井) ・天井 岩綿吸音板 t=12	・床 タイルカーペット t=6.5：指定なし ・壁 無機質壁紙：指定なし ・天井 岩綿吸音板 t=15(システム天井) →吉野石膏ソーラトンカラーシステム同等品以上としてください。 ・天井 岩綿吸音板 t=12 →吉野石膏ソーラトンカラーシステム同等品以上としてください。
181	別館	下記更新のメーカー名・品番が不明です。指定がありましたら御指示下さい。 ・床 タイルカーペット t=6.5 ・床 0A707	・床 タイルカーペット t=6.5：指定なし ・床 0A707 →共同カイテック取扱品同等品以上としてください。
182	見積価格計算書	見積価格計算書のインフラバイパス工事の内訳に外構工事があり、インフラバイパス仮設工事実施設計図の内容が該当するものと考えて宜しいでしょうか。また、上記を正とする場合、建築工事での工事内容の詳細が不明です。御指示下さい。	該当するものとお考えください。インフラバイパスを通す部分のアスファルト仕上げの復旧が建築工事として見込む工事内容と想定しています。
183	外構	外構工作物について、コンクリート強度・スランプが不明です。特記無き限り以下のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 1)コンクリート強度・スランプ FC21N S15 2)捨てコンクリート強度・スランプ FC18N S15	よろしいです。
184	インフラバイパス電気図	インフラバイパス電気図 図面、明細の中で、明細には電柱4本新設、ハルトホーレ5箇所新設となっており、図面と差異があります。切り替え手順方針含め御教授お願いします。	図面を正としてお願い致します。 手順については提示するよう致します。
185	庁舎棟【解体】意匠図一式	庁舎棟【解体】意匠図一式 図面番号 意10 に庁舎棟南側地下に浄化槽躯体が記されていますが、現在は下水本管放流されていますので、切り替え時に地下浄化槽躯体は撤去されていると考えて宜しいでしょうか。 文現状地下躯体がある場合、今回施工にて支障がない部分については残置と考えてもよろしいでしょうか。	施工にて支障がない部分については残置とお考えください。
186	その他	非常放送設備について、既設建物の非常放送アンプは再利用する計画となっていますが、2階から4階がつながり同一階となるため非常放送は新設アンプからの放送がよいと思われれます。また、自動火災報知設備についても受信盤を2か所としています。消防協議の内容をご教授願います。	既設建物と新本館は別棟扱いとなるため、別々でシステムを構築しております。
187	その他	廊下及び執務室空間について、明るさセンサーを設ける必要はありますか？照明器具は調光対応の器具となっています。スケジュールは点滅制御でよろしいですか。また、執務室会議室等の部屋については明るさセンサーを設け省エネを図る必要はありますか？	執務空間についてはスケジュール点滅制御にてお願い致します。 会議室等の諸室は、明るさセンサーは不要としてお願いいたします。
188	その他	増築部分から既設別館キュービクルに送る高圧配線は地中にて配線となっていますが、既設管路を利用する計画ですか。既設管路を利用するのであれば、既設建物EV横のEPSを経由しています。EPS内には別館の接地線が通っており、EPSは撤去は不可能だと思いますが、盛替えが必要であるなら配管ルートをご教授ください。	管路は既設ではなく新設配管としています。

質疑回答書（第2回）

令和7年2月17日 羽曳野市作成

質疑No.	資料名及び ページ番号	質疑事項	質疑回答
189	その他	インフラバイパス工事において、本庁舎～別館への高圧ケーブル本線渡ケーブルも迂回対象として宜しいでしょうか。 また高圧迂回ケーブルは入替でしょうか。	よろしいです。 迂回ケーブルは入替となります。
190	その他	作業時間ですが基本8:00～17:00とし、コンクリート押さえ作業などやむをえない作業を行ってもよろしいでしょうか。	原則可としますが、緊急連絡体制などを踏まえ協議の上決定するものとします。
191	その他	工用電源の支給位置ご指示ください。	指定はありませんので、施設供用に影響の無いよう適宜ご設定ください。なお、有償・無償の別は、要求水準書P33「キ.工用電力・用水」に記載の内容を正とします。
192	その他	工用給水の支給位置ご指示ください。	指定はありませんので、施設供用に影響の無いよう適宜ご設定ください。なお、有償・無償の別は、要求水準書P33「キ.工用電力・用水」に記載の内容を正とします。
193	その他	工用排水位置ご指示ください。	工事の各段階に応じて施設供用に影響の無いよう適宜ご設定ください。
194	その他	—	【補足事項】 要求水準書p.12「2.調査業務に係る要求水準（2）業務上必要な調査の実施」に「土壌汚染概況調査」を追加する。 なお、調査対象範囲は「土壌汚染対策調査報告書」に基づくものとし、調査時期は本年初夏に予定する敷地内給油所閉所後、速やかに実施するものとする。また表層土壌調査以降の調査を対象とする。調査後、調査結果を纏めた報告書を提出すること。 土壌汚染対策工事が必要と認められた場合、工事計画を立案し、工事を実施すること。工事費については監督員との協議によるものとする。